

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 2021 年度事業報告書

自 2021 年 9 月 1 日 至 2022 年 8 月 31 日

一般社団法人 日本口腔顔面痛学会は、口腔顔面痛学に関する研究の進展及びその臨床応用についての研究発表、知識の交換、会員の生涯学習の援助並びに会員相互及び内外の関連学会との連携協力を行うことにより口腔顔面痛学の進歩普及を図り、我が国の学術の発展に寄与すると共に国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする（定款第 3 条）。

これらの遂行のために、2021 年度（2021/9/1～2022/8/31）に以下の事業を実施した。

1. 学術大会の開催

第26回学術大会

2021 年 11 月 20 日（土）・21 日（日）の 2 日間、第 26 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会（大会長：井川雅子）を静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」にて開催された。メインテーマは「No Brain No Pain」で、以下の指導医講習会、シンポジウム、リフレッシュセミナーや一般演題発表が行われた。

（以下、敬称略）

指導医会特別講演会「真のスペシャリストの在り方：日本の歯科医療における専門医を考える」

座長：佐々木啓一（東北大学大学院 歯学研究科）

講師：柳川 忠廣（公益社団法人日本歯科医師会 副理事長）

指導医会「研修制度の歴史と展望」

演者：佐久間泰司（大阪歯科大学歯学部 医療安全管理学／ペインクリニック）

演者：小見山 道（日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座）

特別講演 「Nociplastic pain - 神経可塑性と痛みをつなぐ脳機構」

座長：岩田 幸一（日本大学歯学部 生理学教室）

演者：加藤 総夫（東京慈恵会医科大学、神経科学研究部/痛み脳科学センター）

シンポジウム 1 「非器質的疼痛」

座長：井川 雅子（静岡市立清水病院 口腔外科）

座長：松香 芳三（徳島大学大学院 医歯薬学研究部）

演者：住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター）

演者：山田 和男（東北医科薬科大学 精神科）

演者：野間 昇（日本大学歯学部 口腔診断学講座）

シンポジウム 2 「帯状疱疹」

座長：坂本 英治（九州大学病院 歯科麻酔科）

座長：村岡 渡（川崎市立井田病院 歯科口腔外科）

演者：渡辺 大輔（愛知医科大学 皮膚科）

演者：江崎 伸一（名古屋市立大学耳鼻咽喉科）

演者：椎葉 俊司（九州歯科大学歯学部歯学科 歯科麻酔学講座）

シンポジウム3 「歯の痛みー由来は歯髄、歯周、筋、神経」

座長：和嶋 浩一（慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科教室）

座長：福田 謙一（東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室）

演者：澁川 義幸（東京歯科大学 生理学講座）

演者：辻本 恭久（日本大学松戸歯学部附属病院 マイクロスコープ特診外来）

演者：福田 謙一（東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室）

シンポジウム4 「ストレスと口腔顔面痛」

座長：篠田 雅路（日本大学歯学部 生理学講座）

演者：松山 祐輔（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 国際健康推進医学分野）

演者：土谷 昌広（東北福祉大学健康科学部 保健看護学科）

演者：水村 和枝（名古屋大学大学院医学系研究科, 日本大学歯学部 生理学講座）

演者：井辺 弘樹（和歌山県立医科大学医学部 生理学第一講座）

教育セミナー1 「若手臨床医による OFP 診療」

座長：大久保昌和（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

座長：築山 能大（九州大学 大学院歯学研究院歯科医学教育学分野）

演者：小出 恭代（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

演者：池田 浩子（静岡市立清水病院口腔外科, 日野市立病院 歯科口腔外科）

演者：白田 頌（慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室）

演者：河端 和音（鶴見大学歯学部 歯科麻酔科学講座）

教育セミナー2 「痛みの心へのアプローチ」

座長：玉置 勝司（神奈川歯科大学 総合歯学講座顎咬合機能回復分野）

演者：土井 充（広島大学 大学院医系科学研究科歯科麻酔学研究室）

演者：坂本 英治（九州大学病院 歯科麻酔科）

教育セミナー3 「口腔内特発性疼痛に併存しやすい精神疾患を知る（うつ病と不安症）」

座長：伊藤 幹子（愛知学院大学歯学部 顎口腔外科学講座 リエゾン外来）

座長：渡邊 友希（昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 顎関節症治療学部門）

演者：山田 和男（東北医科薬科大学 精神科）

教育セミナー4 「Burning Mouth Syndrome のパラダイムシフト」

座長：今村 佳樹（日本大学歯学部 口腔診断学講座）

座長：山崎 陽子（東京医科歯科大学歯学部附属病院 ペインクリニック）

演者：岡田 明子（日本大学歯学部 口腔診断学講座ペインクリニック科）

演者：佐藤 一道（国際医療福祉大学医学部 歯科・口腔外科学）

演者：西須 大徳（愛知医科大学 痛みセンター）

リフレッシャーコース1 「症例から考える医療面接」

進行：大久保昌和（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

講師：小出 恭代（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

リフレッシャーコース2 「症例から考える鑑別診断」

進行：築山 能大（九州大学 大学院歯学研究院歯科医学教育学分野）

講師：池田 浩子（静岡市立清水病院 口腔外科，日野市立病院 歯科口腔外科）

リフレッシャーコース3 「症例から考える筋筋膜痛治療」

進行：築山 能大（九州大学 大学院歯学研究院歯科医学教育学分野）

講師：臼田 頌（慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室）

リフレッシャーコース4 「症例から考える神経障害性疼痛の診断と治療」

進行：大久保昌和（日本大学松戸歯学部 有床義歯補綴学講座）

講師：河端 和音（鶴見大学歯学部 歯科麻酔学講座）

リフレッシャーコース5 「痛みはどこで感じるかー痛みのパラダイムシフト」

座長：金銅 英二（松本歯科大学 解剖学講座）

講師：荻野 祐一（群馬大学医学部附属病院 麻酔・集中治療科）

日本口腔顔面痛学会／日本顎関節学会合同企画

特別講座1 「今さら聞けない口腔顔面痛講座～非歯原性歯痛～」

講師：内田 貴之（日本大学松戸歯学部 歯科総合診療学講座）

特別講座2 「今さら聞けない顎関節症講座～顎が痛いという患者が来たらどうするか～」

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座）

ランチョンセミナー1 「単純疱疹, 帯状疱疹診療 update」

座長：白濱 茂穂（聖隷三方原病院 皮膚科）

演者：渡辺 大輔（愛知医科大学 皮膚科）

ランチョンセミナー2 「顎関節症におけるパルピーターとグラインドケアの臨床応用」

座長：西山 暁（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野）

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座）

OFP 開業臨床医のためのコミュニティ (OCPD)

司会：木津 真庭（鷹栖歯科）

司会：池田 浩子（静岡市立清水病院 口腔外科，日野市立病院 歯科口腔外科）

演者：飯沼 英人（北海道札幌市 風の杜歯科）

演者：長島 郁乃（千葉県柏市 ナガシマ歯科医院）

演者：板橋 基雅（北海道上川郡清水町 いたばしデンタルクリニック）

市民公開講座 「お口の粘膜に痛みを生じる病気 ～舌がん？舌痛症？～」

座長：本間 義章（静岡市清水歯科医師会）

演者：高森 康次（静岡市立清水病院 口腔外科）

演者：池田 浩子（静岡市立清水病院 口腔外科）

2. セミナーの開催（セミナー企画運営委員会）

1) Headache Academy for Dentists

【会期】2021年11月19日（金）

【会場】第49回日本頭痛学会総会内でセミナーとして実施された（グランシップ静岡）

日本頭痛学会/口腔顔面痛学会 共同企画（日本口腔顔面痛学会単位認定）

第1部 座長：北原功雄、永田栄一郎

演者：石崎公郁、北原功雄、菊井祥二

第2部 座長：伊藤幹子、嶋田昌彦

演者：端詰勝敬、山田和男 (以上、敬称略)

2) 口腔顔面痛診断実習セミナー

【会期】2022年1月11日(火)～21日(金) オンデマンド配信による事前講義受講&小テスト
2022年1月23日(日) ZOOMによる実習セミナー

【会場】オンデマンド+ZOOMによる診断実習 WEB

3) 口腔顔面痛ベーシックセミナー

【会期】2022年7月1日(金)～25日(月)

【会場】WEB開催

(神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムは6. 2) 参照)

3. 学会誌 (学会誌編集委員会)

第14巻1号を2022年1月に冊子体およびオンラインにて発刊した。

4. 専門資格

1) 口腔顔面痛専門医、指導医、認定医の認定 (専門医等認定委員会)

指導医、専門医、認定医試験を2021年5月22日(日)に行った。指導医、専門医、認定医更新審査、研修施設審査を随時メール会議で行った。

2) いたみ専門医、いたみ専門医療者認定試験 (痛み専門医療者資格審査委員会、認定試験診査委員会)

2021年より一般財団法人日本いたみ財団の「いたみ専門医」「いたみ専門医療者」へ変わったことに対応して規程の整備を行った。2022年3月開催第1回いたみ専門医認定試験受験を口腔顔面痛学会会員が6名希望し、2022年10月開催第2回いたみ専門医認定試験受験を口腔顔面痛学会会員が1名希望した。審議の結果、本学会推薦要件を満たしていたため全員に受験資格証明を発行した。なお同試験受験に際しては、別に日本いたみ財団の定める受験資格を満足する必要がある。

5. 研究の奨励および表彰

1) 研究の奨励 (優秀論文賞委員会)

表彰時期前年の1月から12月までに本会雑誌、日本口腔顔面痛学会雑誌に掲載された学術論文の著者の中から優秀論文賞の候補者(2名以内)を調査選考するため、優秀論文賞推薦委員会を設けた。必要な事項を審議し、推薦要旨の他必要書類を作成して理事会に提出し、優秀論文の筆頭著者に対し、本会学術大会・総会にて表彰した。

・「咀嚼筋痛患者の病悩期間に関連する因子の特定」

野口 智康, 柏木 航介, 野口 美穂, 半沢 篤, 半田 俊之, 福田 謙一

・「冷温刺激および圧刺激をもちいた内因性疼痛調節機構測定装置の開発」

大野 由夏, 河野 亮子, 安藤 慎之介, 高木 沙央理, 小長谷 光

2) 優秀ポスター賞 (ポスター賞推薦委員会)

第 26 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会において優秀ポスター賞を選定した。

最優秀ポスター賞 (基礎系)

P-3 木村有貴 他

三叉神経脊髄路核尾側亜核における IL-33-Fyn 経路による GluN2B のリン酸化を介した口腔顔面領域の神経障害性疼痛の発症メカニズム

最優秀ポスター賞 (臨床系)

P-8 北原功雄

三叉神経痛における電気生理学的、解剖学的マッピング

優秀ポスター賞 (基礎系)

P-6 矢島愛美 他

口腔顔面炎症によるラット広汎性痛覚過敏に及ぼす gabapentinoids の作用

優秀ポスター賞 (臨床系)

P-9 小笹佳奈 他

バーニングマウス症候群患者における熱痛覚変調と不安傾向との関連性

優秀ポスター賞 (臨床系)

P-11 鳥巢哲朗 他

超音波検査による咀嚼筋の筋・筋膜の計測と開口障害との関連性に関する研究—信頼性の検討—

優秀ポスター賞 (臨床系)

P-13 青野 楓 他

筋筋膜痛歯痛患者における歯根膜閾値の変化

3) その他

6. 国内交流事業

1) 国内疼痛系学会との交流 (理事長)

痛みに関する課題の共有と方策について協議する目的で、

日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会、日本運動器疼痛学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本頭痛学会と設立した「日本痛み関連学会連合」を通じて、国内の疼痛団体と交流した。

2) 神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウム (セミナー企画運営委員会)。

神経障害性疼痛関連学会合同シンポジウムを口腔顔面神経機能学会、日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会 (五十音順) と合同で開催した。

2022 年 3 月 13 日 (日) ZOOM による講演配信とディスカッションのライブ配信で実施した。

2021 年 3 月 13 日 (日) ~ 3 月 27 日 (日) 後日オンデマンド配信を行った。

3) 渉外活動 (渉外委員会)

「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究」への参画として、全国 8 地区から委員を選出し、各地区の状況を会議にて共有し

た。その後、委員を中心に、各地区でのセミナー情報の収集を行い、会員に向けて発信した。

4) その他（理事長）

本学会の目的達成のため、国・官公庁、国内外の医歯学・医療関係団体との協力、協議を行った。

- ・日本歯科医学会
- ・日本歯学系学会協議会
- ・日本歯科医学会連合
- ・日本痛み関連学会連合 他

7. 国際交流事業（国際交流委員会）

- 1) 国際疼痛学会 (International Association for the study of Pain: IASP) および Special Interest Group of Orofacial Pain and Headache (SIG of OFPH)との交流を行った。
- 2) アメリカ口腔顔面痛学会 (American Academy of Orofacial Pain: AAOP) との交流を行った。
- 3) アジア頭蓋下顎機能障害学会 (Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders: AAOT) との交流を行った。
- 4) 国際歯科研究学会 (International Association for Dental Research) の神経科学グループ (Neuroscience Group) および International Network for Orofacial Pain and Related Disorders Methodology (INFORM)との交流を行った。
- 5) その他

8. 歯科医療の向上のための事業

- 1) 診療ガイドライン（ガイドライン作成委員会）
慢性疼痛診療ガイドラインの改訂(口腔顔面痛の項)および非歯原性歯痛の診療ガイドライン改訂を行った。
- 2) 口腔顔面痛教育シラバス（シラバス委員会・用語検討委員会）
米国において Orofacial Pain が 12 番目の Dental Specialty に認定されたことから、世界の卒前・卒後教育の動向について調査研究を行った。
- 3) 社会保険（医療保険委員会）
令和 4 年度（2022 年度）診療報酬改定を踏まえ、以下の①②③④に向けての調査、準備を行った。
 - ① 医療関連事業の調査研究の準備、和文報告書等の作成：歯科医学会連合の医療問題関連事業に昨年度受理された認知行動療法に関する課題の英文論文作成、今年度の運動療法に関する課題の日本語報告書ならびに英語論文作成を行った。
 - ② 前年度から準備をしているデュロキセチン（商品名サインバルタカプセル）の「末梢性神経障害性疼痛」とセレコキシブ（商品名セレコックス）への適応拡大につき、日本口腔外科学会と日本口腔内科学会と共同申請を行った。
 - ③ 令和 4 年度診療報酬改定に向けて、認知行動療法とクロナゼパム(商品名リボトリール)の舌痛症への適応拡大を始めとして保険収載候補、適用拡大候補を選定し、準備を開始

した。

- ④ 令和4年度2月、日本歯科医学会連合で公募した、医療問題関連事業「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」の第1回課題募集に対して申請し、下記のとおり採択された。

課題番号：JDSF-DSP1-2022-217-1

申請課題：三叉神経ニューロパチーに対する光線療法についての調査研究

報告書作成担当者：福田謙一

研究助成金 100,000 円

4) 医療問題関連の活動（理事長）

種々の医療問題に関する見解の取りまとめと解決を行った。

・東北大学佐々木啓一教授を代表とする厚生労働科学研究費による「歯科診療における情報通信機器等を用いた診療についてのルール整備に向けた研究」を援助した。

・令和4年度8月、日本歯科医学会連合で公募した、医療問題関連事業「歯科医療制度と歯科医療問題に関する資料収集および調査研究」の第2回課題募集に対して申請を行った。

申請課題：歯科医療におけるボツリヌス毒素のメカニズムと効果

申請者：松香芳三

5) 会員の資質向上（学術委員会 e-learning 検討部会）

IASP 教育システム開発プロジェクトチームと連携し、会員のための e-learning の開発を行った。

6) 臨床研究（学術委員会臨床研究検討部会）

学会として以下の臨床研究を検討・実施した。

1. 歯科診療におけるオンライン診療(Tele-dentistry)の現状と課題の研究
2. 精密触覚機能検査と三叉神経ニューロパチーの経過と予後に関わる寄与因子の検索
3. 慢性難治性口腔顔面痛の多面的病態評価
4. 口腔顔面痛疾患のWEBによる臨床統計

7) 会員の倫理向上（倫理委員会）

倫理委員会が所管する審議事項は生じなかった。

8) 会員の利益相反（利益相反委員会）

会員に対する利益相反の啓発活動を行った。

9) IASP 教育システム開発プロジェクト（IASP 教育システム開発プロジェクトチーム）

アプリの基本システムを完成させ、以下の活動を行った。

- ・2021年10月にアプリケーションの実装（口腔顔面痛テキストブック第2版 e-learning 版、Virtual Patients、評価システムをアップ、試用後の修正実施）を完了し、会員向けにプレリリース開始
- ・第26回学術大会のオンデマンド配信対応および機器展示ブースでの広報活動
- ・セミナー企画運営委員会のオンデマンド対応サポート（2022年1月診断実習セミナー、2022年7月1日～25日ベーシックセミナー）
- ・コメディカルコンテンツの開発

- ・一般医療従事者および国民向けプレスリリースの準備
- ・第27回学術大会での機器展示ブースでの広報活動およびランチョンセミナーでの広報を計画
- ・学会発表

※ 20th Scientific Meeting of Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders. 25th - 31st of October 2021, Republic of Korea. 「Development of an evidence-based learning management system for continuing education program of orofacial pain」 Yoshizo Matsuka at el.

- ※ 第40回日本歯科医学教育学会 会期2021年11月20日(土)～12月3日(金)
 - 演題1 「口腔顔面痛の生涯教育プログラムに資する Evidence based 学習管理システムの開発」 臼田頌, 他
 - 演題2 「次世代情報共有基盤システム NetCommons3 を用いた e-Learning セミナーの構築」 小長谷光, 他

10) ICT の活用 (ICT 活用推進委員会)

IASP 教育システム開発プロジェクトと共同で活動を行った。

11) その他

- ・日本歯科医学会プロジェクト研究 (理事長)
 - 令和4年度日本歯科医学会プロジェクト研究に応募し、採択され、研究を開始した。
 - 課題番号：2022-B-5
 - 課題名「口腔顔面痛診断補助ツールアプリケーションの開発とその臨床応用上での法的な整理」
 - 支給研究費：令和4年度260万円、令和5年度440万円、合計700万円
 - 研究代表者：松香芳三
 - 研究分担者：臼田 頌、村岡 渡、小見山 道、佐々木啓一、西須大徳、野間 昇、島田明子

9. 広報事業 (広報委員会)

- 1) ホームページの管理業務における運営体制の検討
 - 2) ホームページおよびメーリングリスト、ニュースレターでの情報開示
 - 3) 口腔顔面痛学会および口腔・顔面領域の疼痛疾患に関する医療の、医療関係者および国民への周知徹底のための諸施策の実施
 - 4) BMS および PIDAP/PIFP の、医師・歯科医師および国民への積極的な広報。
 - 5) ICOP 分類の広報
 - 6) その他
- 上記活動を行った。

10. 会議の開催 (総務担当理事)

2021年度は以下の会議を実施した。

- 1) 理事会・評議員会

2021年度 第1回 臨時理事会 2021年11月19日（金）

- 第1号議案 理事長の選任
 - 第2号議案 常任理事の選任
 - 第3号議案 2023年学術大会長の決定
 - 報告事項1：各委員会担当理事選任の件
 - 報告事項2：2021年度事業計画について
 - 報告事項3：2021年度予算案について
- 上記が承認された。

2021年度 第2回定時理事会 2022年8月20日（土）

- 第1号議案 2022年度事業計画案について
 - 第2号議案 2022年度予算案について
- 上記について、計画審議、予算審議、その他協議を行った。

インターネット理事会開催

- ・第1回 2021年12月6日 20:58 発議-12月16日 8:40 承認
アドホック委員会の設置が承認された。
- ・第2回 2021年12月16日 13:15 発議-12月24日 8:43 承認
新委員会メンバーが承認された。
- ・第3回 2022年2月22日 22:53 発議-2022年03月4日 7:51 承認
専門医等更新が承認された。

2) 各委員会

本学会が目的とする事業を達成するため、各委員会を開催した（インターネット開催を含む）。

1 1. 社員選挙及び理事選挙の開催（選挙管理委員会）

2021年度は、選挙は開催されなかった。

1 2. 本学会の社会的地位向上のための活動（理事長）

- 1) 広告のできる専門医
広告のできる専門医の資格取得のため、会員の増加を図った。
- 2) 日本歯科医学会専門分科会
専門分科会加入を申請したが、申請は認められなかった。
- 3) 日本歯科専門医機構（専門医機構申請準備委員会）
同機構について情報収集をした。

1 3. 会員の顕彰

- 1) 名誉会員の推挙（理事長）
本学会の発展のために特に顕著な功績のあった会員の検討を行った。
- 2) 功労会員の推挙（学会特別功労賞推薦委員会）
これまでに退職され、本学会に多くの貢献をなされた会員の中から功労会員を推戴することを

計画した。

14. 会員数

(2022年8月31日現在)

1. 正会員 818名
2. 準会員 85名
3. 法人会員 0社
4. 名誉会員 8名

会員数合計：911名

15. その他

目的達成のために必要と認められる事業を行った。

以上